

## 【総評】

受験生の皆さん、お疲れさまでした。今年の入試は、昨年と比べて易化したものの、依然として読解力や表現力を重視する傾向が見られました。緊張の中、思うように実力を発揮できなかったと感じる方もいるかもしれませんが、まずはここまで努力を重ね、全力を尽くした皆さんに拍手を送りたいと思います。高校入試は、中学生の皆さんにとって人生の節目であることは間違いありませんが、最も重要なのは、この経験を今後の長い人生の中でどのように生かしていくかということです。今回の経験が皆さんを強くし、今後の人生の糧になることを祈っています。また、保護者の方々も、受験したお子さん同様に（もしくはそれ以上に）不安を抱きながら過ごされていたことと思います。本当にお疲れさまでした。

以下、今年の入試の傾向について簡単に振り返ります。

## ●出題形式・内容

形式面では、昨年と比べ大きな変更は見られませんでした。内容面では、資料や問題文の読解力・文章記述力を重視した近年の傾向が続いています。特に、国語や英語では「自分の考えを表現する力」を求める記述問題が出題され、単に自分の意見を述べるのではなく、文章や資料を根拠に論理的に考えを述べる力が試されました。また、数学では「身近な事象を数学的に考察し説明する力」が求められ、説明文や会話文の中から必要な情報を読み取り、数学的知識を用いて説明する問題が目立ちました。今後も高校入試はもとより、大学入試でもこのような傾向が続くと考えられるため、日頃から文章や資料を正確に理解し、論理的に考えをまとめる力を養うことが重要です。

## ●難易度

全体の難易度としては、5教科合計で昨年より15点程度得点しやすかったと予想されます。前述の通り、どの教科も読解量や文章記述量が多かったものの、文章記述問題は知識があれば答えられるオーソドックスなものも多く、昨年に比べバランスが考慮された出題でした。教科別に見ると、国語は難化、英語は昨年並み～やや易化でしたが、数学・社会・理科は大きく易化しました。普段のテストや模試と比べて得点と差がついた受験生もいると思いますが、入試の難易度が変われば得点率も変わり、ボーダー予想も変わります。また、倍率や欠席者、志願者のレベルなどによってもボーダーは変動します。そのような観点もふまえて、事務局の分析と予想をご覧いただき、参考にいただければ幸いです。

## 【国語】

- 難易度…古文は、全体の内容把握が難しく、昨年よりも難易度が上がった印象です。また、実用的文章の長文記述の問題では、昨年同様、思考力・表現力が問われました。それ以外については、昨年とほぼ変わらない難易度だったと考えます。平均点は、昨年よりも低くなると予想します。
- 構成…大問は、昨年と同じく、「言語事項・古文」、「説明的文章」、「実用的文章①」、「実用的文章②」の4題。昨年に続き、今年も「文学的文章」の出題がありませんでした。□については、一昨年は「文学的文章」、昨年は「説明的文章」、今年も「説明的文章」という出題になりました。
- …問四は、①で自分が選んだものに応じて、②の答えが変わるという新傾向の問題が出題された。古文は、あらすじを含め、全体の内容把握が難しく、解答に時間がかかった生徒が多かったのではないかと考えます。
- …素材文の字数は約2970字（昨年は約2800字）で、昨年よりやや増えました。資料や会話文を用いた問題はなく、基本的な形式の問題が出題されました。問七は、解答の手がかりとなる部分は傍線部の近くにありましたが、解答のまとめ方が難しく、解答を書きにくかったのではないかと考えます。
- …問二までは易しい問題であったと考えます。問三は、資料の「住み続けたいと思う理由」を踏まえて、住みよい町づくりのためのアイデアについて書く問題でした。解答の形式や内容に自由度がある問題であったため、どのように解答を書けばよいか悩んだ人が多かったのではないのでしょうか。
- …問三は、二つあるキャッチコピーから、よいと思う方を選び、選んだ理由について書く問題でした。解答欄の書き出しに続けて、二つのキャッチコピーそれぞれの表現の特徴に触れながら、自分が選んだ案の表現の効果について書くというもので、解答の条件が多かったため、難しかったと考えます。

## 【数学】

- 難易度…問われている内容は標準・基本的なレベルの問いが多く、難問ありませんが、昨年と同様に読解量が多く、読み取りに時間がかかりそうな印象です。見慣れない問題に対して冷静に向き合い、自分の知識を使って対処できたかがカギとなりそうです。平均点は昨年に比べてやや高くなりそうです。
- 構成…今年は「統計」分野の大問としての出題がなく、「文字式・方程式」の大問が復活しました。また⑤は図形総合問題ですが、空間図形を主な題材とする出題は裁量問題以来ではないかと思います。記述式解答は5題、配点は31点で、昨年（5題・33点）同様、比重がたいへん高くなっています。
- ①…各分野からの基本問題で、いずれもごく平易でしたが、問2は正答率が低そうです。
- ②…文字式による証明。問3は、最終的な式の形を予想して括りだす数を決める必要があり、形式的ではない理解が求められました。
- ③…関数の利用。身近な事象について関数  $y=ax^2$  を利用して考察する問題が2年連続で出題されました。問2までは平易で、問3も内容自体は平易ですが、必要な情報を文章中から読み取り式に表す必要があり、難しく感じられたかもしれません。
- ④…平面図形。作図、三平方の定理、証明が出題されました。証明は二等辺三角形の性質を利用して3つの角が等しいことを導くもので、馴染みが薄く、書き方が難しかったかもしれません。
- ⑤…相似な立体の体積を中心とする総合問題で、記述式解答が2題続きました。問2の(1)は相似比と体積比について説明すればよく、(2)も必ずしも模範解答のように方程式にする必要はありませんが、書き方の定型があるわけではないので迷ったかもしれません。

## 【社会】

- 難易度…昨年より易化したといえます。資料や写真と関連づけた問題のほか、基本的な知識問題も出題されており、取り組みやすかったのではないかと思います。また、記述問題は、資料を活用する問題が減って、定期テストなどで問われる基本的な内容が多くなりました。平均点は昨年より高くなると予想します。
- 構成…大問構成は昨年同様、小問集合1題、地理・歴史・公民の各分野から1題ずつの計4題、小問数は33問でした。各分野の配点は、①小問集合34点（15問）、②歴史22点（6問）、③地理22点（6問）、④公民22点（6問）となりました。記述問題の出題は10問、完全解答の出題は11問でした。
- ①…各分野からの小問集合で、地理・歴史・公民分野からほぼ均等に出题されました。基本的な知識を問う問題が中心でしたが、地理の記述問題は模範解答のような解答を書けた人は少なかったのではないかと思います。
- ②…歴史分野からの出題でした。ここ3年で最も取り組みやすい内容でした。記述問題2問は資料を使用したものではなく、知識だけで解答でき平易でした。ただ、問5は(1)（語句）と(2)（記述）で5点となる問題だったので、(1)の岩倉具視を正しく書けずに(2)のみの加点となった人もいたのではないかと思います。
- ③…地理分野からの出題でした。定期テストで出題されるような基本的な問題もありましたが、資料を利用した問題が多く、思考力が問われました。また、㊦（世界地理）ではグラフから金額を計算する問題も出題されました。
- ④…公民分野からの出題でした。問4は需要量と供給量のグラフを理解している人にとっては平易ですが、苦手としている人にとっては嫌な問題だったのではないのでしょうか。問5、問6では、資料を正しく読みとる力が問われました。

## 【理科】

- 難易度…昨年より易しくなりました。解答しやすい問題の出題が増え、平均点が昨年から高くなると思われます。
- 構成…小問集合の大問1題、実験等から出題する大問4題と、例年通りの形式でした。全体の小問数は32問で、配点は①が28点、②～⑤が各18点と例年と同じでした。記述問題が5問になり、昨年より少なくなったことに加え、記述すべき量が短くなり、昨年よりも書きやすい内容でした。
- ①…問1の穴埋め語句解答は、解答しやすいものが多く、スムーズに解答できたと思われます。問2以降も難しいものはなく基本的な問題ばかりでした。
- ②…物理分野（光による現象）…光の反射・屈折に関する出題でした。問1(2)は、(1)と同様に光が進む道筋を書き入れれば、鏡にうつって見える範囲がわかります。問3も光が進む道筋を書き入れると考えやすくなります。
- ③…生物分野（動物の体のはたらき）…だ液のはたらきと消化されてできた物質に関する出題でした。何度も演習したことのある実験であったと思われますし、基本的な内容が多くありましたので、解答しやすかったと思います。問2(2)の記述は、ヨウ素液を加えた試験管AとEの色の変化の違いから、「すべて」と「一部」を判断できたかがポイントでした。
- ④…地学分野（太陽の黒点の観察・日食）…太陽の黒点の観察と日食に関する出題でした。問1(3)について、黒点が周辺部にあるとだ円形に見えるという知識はほとんどの人が持っていると思いますし、問題演習をしている際に見かけたことがあったと思います。これを縦長の円で表現できるかが問われました。また、問2(2)は桁数が大きい数値を用いた計算で、計算力が求められました。
- ⑤…化学分野（化学変化）…酸化銅の還元に関する出題でした。問2は見慣れないものでしたが、その他の問題はこの単元の問題として「よくあるもの」でした。計算を要する問題がいくつかありますが、難しいものではありませんでしたので、すべて正解できた人も一定数いると思われます。

## 【英語】

- 難易度…昨年よりもやや易化したといえます。今年も読解力と表現力が求められる試験となりました。長文問題では新傾向の出題も見られました。中間点が設定されている問題で、どれだけ点数を積み上げられたかが重要になりそうです。
- 構成…例年同様、①はリスニング問題（約11分）、②は文法・イラスト問題、③は読解の集合問題（Aは資料読解、Bはスピーチ文の短文読解、Cは会話文の長文読解）、④は英作文という構成でした。
- ①（リスニング）…問1・問2は英文1回読み、問3・問4は英文2回読みの出題となりました。問4は今年もリスニングとライティングを融合させた問題でした。音声は比較的聞き取りやすいものでした。
- ②（文法・イラスト問題）…易しい出題となりました。中学2年生の夏ごろまでに学習する文法を中心に問題されました。難しい問題はないので、確実に得点しておきたいところです。
- ③A（資料読解）…例年同様の出題形式でした。文字情報が多く、解答に思ったより時間がかかった方もいたかもしれません。問3は昨年とは傾向が異なり、メール文の空欄補充が出題されました。
- ③B（短文読解）…例年同様の出題形式でした。英文のテーマは、cashless payment「キャッシュレス決済」でした。日常生活で聞いたことがある話題で、英文を読む前に要旨をつかみやすかったのではないのでしょうか。問3は理由も問われたので、becauseなどの接続詞を使いながら、主語と動詞を含む英文1文で答えられたかがポイントとなりました。
- ③C（長文読解）…会話文の長文が出題されました。例年同様、登場人物の発言を正確に読み取る必要がありました。問3は昨年とは傾向が異なり、スピーチに向けたメモをまとめる問題でした。(2)①のabroad、(2)②のmakeの空欄補充の問題は、どちらも正答率が低くなると予想されます。(3)は答え方に悩んだ方が非常に多かったと思います。
- ④（英作文）…英作文のテーマは「あったらよいと思うもの」でした。(1)は仮定法の空欄補充の問題でした。I haveと解答した方が非常に多かったと予想します。(2)はgo to theのあとの空欄補充の問題でしたが、何を書けばよいか悩んだ方も多かったのではないのでしょうか。